

雲北陵月報

No. 404

平成31年4月27日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

第24回中学校 第111回高等学校 入学式挙行



学校長式辞

陽光うららかに降り注ぎ、春の息吹が感じられる4月9日、平成31年度出雲北陵中学・高等学校入学式が挙行された。本年度は中学校39名、高等学校192名、合わせて231名の新生を迎えた。式典には本校高等學校PTA会長の多々納剛人様をはじめ多数のご来賓の方々にご臨席を賜り、新入生の門出を祝福していただいた。



中学校新入生代表
内藤 亮輔君



高等学校新入生代表
久家 鈴さん

担任から呼名され、水谷厚志学校長から入学が許可された後、同学校長から「人間的に大きく成長できる今の時期に、大きな志を持って、本校でしっかりと勉学に励んで欲しい。日々の学習や部活などを通して、多くのよき友と巡り合い、これからの長い人生を支えてくれるに足る、確かな友情を築いていって欲しい。」と激励の言葉が贈られた。また水谷勲理事長からは、「今やりたい事をやり抜き、自分が熱中できる、夢中になれるものを見つけて全力で取り組んで欲しい。」とお祝いの言葉が述べられた。

新入生を代表して、中学校からは内藤亮輔君(北陽小)、高等学校からは久家鈴さん(北陵中)が、それぞれ入学の決意を力強く宣誓した。

入学を祝して



中学教頭
菅田 修司

新入生の皆さん、本校へのご入学おめでとうございます。中学生の皆さんは義務教育の最後の三年間を自らの意思で選択し、また高校生の皆さんは義務教育を終えた後さらに勉学に励もうという意志を持って選択し、晴れて入学の日を迎えられました。

学校とは学業を修めることが本分ですが、昨今学力をつけることの意味も変わりました。知識に偏るのではなく、自ら考え自分の言葉で表現する深い学びが求められています。また、中学校でも今年度から教科となった道徳では、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤づくりが求められています。

さて、新元号「令和」には苦難を乗り越え心を寄せ合い、和の心を持って生きることへの願いが込められています。皆さんがその改元の年に入学されたことに深い縁を感じずにはおれません。

本学園も高等学校が今年創立百十周年を迎えます。校訓「柔しく剛く」は、時代に即した柔軟な対応力や相手を尊重する心、困難に立ち向かう強い自律の心を持った人間形成づくりを目指しており、相対するものがあるように思います。

中学校、高校での生活はあっという間です。そして二度と帰ってはきません。挑戦することで失敗があったとしても、そこから得るものが必ずあるはずで、それらはすべて皆さんの心の宝になり一生の財産になります。全力で打ち込める何かを見つけ自己研鑽される場となることを願っております。

卓球部

平成30年度 第46回全国高等学校卓球大会

3月25(土)28日
於 北九州市立総合体育館

創部以来初の全国大会で3位入賞!

〔男子団体〕

〈予選リーグ〉
本校 3-0 大阪桐蔭(大阪)

本校 3-1 学館浦安(千葉)

本校 3-1 専大北上(岩手)

(決勝トーナメント)
1回戦 本校 3-1 滝川第二(兵庫)

準決勝 本校 3-1 鶴岡東山形

準決勝 本校 0-3 野田学園(山口)

○大会総評

本校初となる3位入賞を果たした。予選リーグから厳しい試合の連続であったが、選手は持ち前の粘り強さを発揮し、難局を乗り越えることができた。決勝トーナメントでは、昨夏のインターハイ3位の滝川第二高校、同2位の鶴岡東高校を連破し、選手は自信を深めることができた。この成績に満足することなく、更に上を目指して日々精進していきたい。遠路応援に駆けつけてくださった保護者の皆様、有難うございました。(顧問 古瀬泰之)



3位入賞の団体メンバー

高校普通教室・調理室エアコン設置完了と記念塔改修作業

この度、普通教室のエアコンを新しく取り替えると共に、調理室に新たにエアコンを設置しました。合わせて、記念塔階段について改修作業を進めているところです。

今後とも快適な環境づくりに努めたいと思います。

一年生担任挨拶

中学校



中学校一年一組担任
西村かおり

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。これから始まる三年間に希望を膨らませていることと思います。中学校で、皆さんに取り組んで欲しいことが三つあります。「協力」、「挑戦」、「継続」です。本校で出会った仲間達と「協力」し、初めてのことに積極的に「挑戦」し、自分の夢に向かって地道な取り組みを「継続」して欲しいと思います。その先にはきっと素晴らしい未来が待っているように、学校生活が充実したものであるように、私達と一緒に楽しい学校生活を作りましょう。



中学校一年二組担任
河野 高幸

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。この中学生生活三年間で皆さんが多岐にわたる学び、大きく成長することを期待しています。そのためには失敗を恐れず、たくさん挑戦をしてください。その挑戦の多さが今後の人生に役立つ日が必ず来るはずですよ。私も挑戦をする皆さんを全力で応援し、中学生生活がより良いものになるようサポートしていきたいと思っております。一緒に頑張ってください。一年間宜しくお願いいたします。



一年一組担任
陶山 浩史

高等学校

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。いよいよ高校生活がスタートします。今の気持ちを大切に、自分の夢(目標)をしっかりと定め、それを実現するために努力を惜しまないでください。これからの三年間は、楽しいこともたくさんあると思いますが、辛いこともたくさんあると思います。困難にぶつかっても決して挫けることなく乗り越えていってください。私も皆さんの夢(目標)が実現でき、充実した学校生活を送れるよう全力でサポートします。宜しくお願いいたします。



一年二組担任
椿 英史

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。新たなスタートを迎え希望に満ちていることと思います。高校生活は、将来を決める大事な時期になります。充実した学校生活を送るためにも積極的な姿勢で、何事にも前向きに取り組んでください。皆さんの成長を楽しみにしながら、全力でサポートし応援していきます。



一年三組担任
村上 学

ご入学おめでとうございませう。入学して不安なことも多いと思いますが、自分のできる範囲のことに誠実に取り組んでいきましょ。時間が経てば、学校にも慣れてきて、馴染んでいきます。今抱えている不安の数々は必ず消え去ります。間違えることがあっても修正し改良すれば、その失敗は宝に変わります。生きていくと大変なことも起きますが、その困難を乗り越えた時、想像を超える展開が待っています。皆さんの高校生活が実り多きものになるよう祈っています。



一年四組担任
岩成 俊策

ご入学おめでとうございませう。私はこのクラスを皆さんにとって居心地のよいクラスにしたいと考えています。そのために、お互いを知り、その違いを認め合うことから始めていきたいと思います。また、楽しいだけでなく、それぞれの目標に向けて真剣に取り組むことが出来る集団を目指していきましょ。一年間宜しくお願いいたします。



一年五組担任
柳樂 正也

新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。若い皆さんと一緒に過ごせることを嬉しく思います。二度と返つてこない、やり直しの利かないこの三年間を充実したものにしてもらいたいと思います。自ら考え行動し、多くのことにチャレンジして自らを高めていきたいと思います。私達は一生懸命頑張る皆さんを全力で後押しします。



一年六組担任
妹尾 一希

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。これからの三年間というのは、将来に繋がる大切な時期です。三年後、就職をするにも進学をするにも、それ相応の力を身に付ける必要があります。三年という限りあるこの時を、充実した時間にするかどうかは皆さん自身に掛かっています。芸術活動に打ち込むことは、もちろん大切ですが、勉学に励むことも大切です。目先のことでだけでなく、将来を見据えて頑張ります。皆さんの頑張る姿を全力でサポートし、応援します。一緒に頑張りましょ！

中・高なぎなた部

第14回全国高等学校なぎなた選抜大会

時 3月23・24日
於 伊丹スポーツセンター

各年代が全国の舞台で躍動!

- 〈個人試合の部〉
- 森本あか音(25北) 3位入賞
- 日野 愛理(32神) ベスト16
- 玉木 羅夢(23神) 3回戦敗退
- 〈団体試合の部〉
- 本校 0-1 神大附属 ベスト16



団体メンバー

大会総評
今大会は個人戦で森本が3位に入賞し、4年連続で3位以上の結果を残すことができた。団体ではベスト16と入賞を逃したことが、課題を見つけた。今後は「日本一」を目指し稽古に励みたいと思う。皆さんの応援有難うございました。(顧問 井上美代)

第36回若獅子旗なぎなた大会

時 3月24日
於 アクシオン福岡

- 〈個人中学生の部〉
 - 豊田詩月(中3神) ベスト8
 - 〈演技中学生の部〉
 - 衣笠(中3岐)・川上(中3神) 組 2回戦敗退
 - 豊田・谷口(中2神) 組 3回戦敗退
 - 〈団体中学生の部〉
 - 本校 1-1(代表決定戦) 北条スボ少
 - 1回戦敗退
 - 〈個人高校生の部〉
 - 原 出穂(平成30年度卒業生) 3位入賞
 - 青戸真実(平成30年度卒業生) 4位
 - 〈団体高校生の部〉
 - 島根県なぎなた連盟 3位入賞
- 大会総評
今大会は中学生は結果を残すことができなかったが、3月に卒業した3年生が活躍し、個人と団体で入賞することができた。応援有難うございました。(顧問 井上美代)

作品と研究

「出雲北陵中学校に入学して」

長井 修貴(12歳)

私はこの春、小学校の友達と別れて出雲北陵中学校に入学しました。なぜそこまでしたかという、普通の中学校ではできないくらい勉強ができるというからです。例えば、英語は普通一科目しかありません。英語I、英語II、英会話と三つあります。そして、教科書も三、四冊も使うこともあり、出雲北陵中に決めました。

北陵中学校では勉強を頑張ることはもちろんの事、友達をたくさん作って楽しく過ごしたいです。部活は本気で取り組み、親や先生方、友達皆さんに感謝して、周りの人に支えてもらって生きているんだという事を心に刻んで生活したいです。また人から信頼され、人を思いやれる人になれるように自分を磨いていきたいです。信頼される人にならないと、どんなにいい事を思っても、人が話を聞いてくれないからです。信頼される人なら、すぐに人がついてきてくれます。そして人を思いやれる人は相手を喜ばせる事ができます。人に親切にされると嬉しいし、私も相手もいい気分になります。私はこれらの事を三年間頑張る事で、よい学校生活を過ごしていきたいです。

「出雲北陵高校に入学して」

阿式 愛海(13歳)

私が出雲北陵高校に入学したのは、設備や学習環境が整っている事と、先生方が分かりやすく丁寧に教えてくださるからです。私は勉強が苦手なので、勉強に力を入れられると思いい選びました。

最初は何も分からなくて、友達付き合いなども不安でしたが、先生方から色々なお話を聞いて、少し安心できました。まだ始まったばかりで不安がありますが、これから色々なことを経験することで、不安をなくしていきたいです。

義務教育が終わり、色々なことが変化していきました。出雲北陵高校は、校則が少し厳しいところがありますが、全て将来の私達のためにあると思います。授業では中学校の頃より丁寧に教えてくださり、生活面でもしっかりと指導してくださるのでとても生徒の事を考えておられると思えました。

私は社会にでて就職した時に、必要とされる人になれるようこの学校で、準備をしていきたいです。そのため、日々の生活態度をよくしていきたい、あたり前の事をあたり前にできるようにしたり、友達との付き合い方を考えたりしたいと思っています。

これからも、出雲北陵高校で楽しく過ごせるよう、はじめをつける時はつけ、当たり前前の事を当たり前前に、後悔のない高校生活を送ります。



下高宮芽衣(15歳)

私は出雲北陵高等学校の受験で合格してからの間、入学後の目標を決めました。一つは部活動です。私はずっと北陵の吹奏楽部に憧れており、入部したときは嬉しい気持ちしかありませんでした。しかし、いつまでも嬉しい気持ちでいてもいけないので、吹奏楽部に入るために来たからには、どんなにつらくても苦しくても最後までやりきるという決意をしました。また常に努力をしていく事で技術はもちろん、自らを成長させる事もできると思います。常に努力を続け、どんな時でも最後までやりきる事を意識していきます。

二つ目は勉強です。高校は中学と異なる点が多く、授業のスピードも速くなります。だから、毎日予習復習をして分からない所がないようにし、授業についていこうと思います。また、私には国立の大学に進むという大きな目標があります。その目標を実現するために必要なのは部活動との両立だと思っています。ハードな練習の後の勉強は、下宿をしている私にとってどれだけ集中できるかが大切だと思います。それをどのように実行していくか、一年生のうちにペースをつくりたいです。短い三年間の高校生活、校訓である「優しく剛く」を心におきながら充実させていきたいと思っています。

佐藤 至将(16歳)

私が出雲北陵高校に入学した理由は、美術・CGデザインコースがあったからです。オープンキャンパスで見た美術に関する設備が充実している事や、将来は美術系の大学に進

学を考えている自分にとってぴったりだと思いいこに入りたいと思いました。

また、美術とは美術の世界だけでなく、他のさまざまなものの影響を受けていくものだと思っています。だから同じクラスに音楽という存在がある北陵の環境にひかれ、ここで美術を学びたいと考えるようになりました。そして、美術のためには勉強も大切だと考えています。絵を描くためには、小説や映画を作る時のように多くの知識が必要です。だから、授業はもちろん予習復習を行い、提出物もきちんとしなければと思います。

入学してから気付いた事ですが、北陵は校則が厳しかったり、礼法という授業があったりして、社会に出て通用するような人を育てているように思います。そういう点でも自分を律する事ができる人間になりたいと考えています。この三年間で、美術、勉強、社会的なマナーを学び、楽しく学校生活を送りたいと思います。

第2回西日本高校写真部選抜展奨励賞
今月の1枚 「静かな午後」
吾郷 眞菜(32歳)

